

# 1 計画の策定について

- 県立美術館では、美術館が抱える様々な課題や美術館を取り巻く社会情勢の変化に対応するとともに、滋賀の美の魅力を発信する存在感のある施設となるため、外部有識者で構成した美術館魅力向上部会での議論（令和5年7月～12月）を踏まえ、美術館の新たな方向性について調査・検討し、令和6年3月に「滋賀県立美術館魅力向上ビジョン」を策定しました。
- ビジョンで掲げた方向性を実現するため、県立美術館の施設整備に係る具体的な計画として「滋賀県立美術館整備基本計画」を来年度策定します。**

滋賀県立美術館魅力向上ビジョン



# 2 令和6年度の主な取組状況

- 意見・ニーズ把握  
ギャラリー使用者、来館者等アンケートを実施  
美術館のこれからを考えるワークショップの開催
- 部局横断的な情報共有・検討  
庁内整備検討チーム会議の設置、検討
- 整備における技術的要件の検証  
東北大学と共同研究を実施し、増築可能範囲等を検証
- 公園と一体となった魅力向上策の検証  
立命館大学との共同研究をもとに、美術館入口位置等を検証

## (参考) 計画策定スケジュール

令和6年5月	検討の開始（調査研究・対話等）
令和7年3月	計画骨子
令和7年4月～	具体的な整備内容・手法等の調査検討 子どもや利用者・県民等との対話
令和7年12月	計画案
令和8年3月	策定・公表

# 3 検討の方向性

